三鷹中央防災公園・元気創造プラザの指定管理者との協働による 個別事業 事業名 ス 1 掲載No 円滑な管理運営 【事業概要】 「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ」において、指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団(以下「財団」という。)等との協働に より、引き続き円滑な管理運営を実施するため、施設運営協議会の開催や施設利用者のニーズ把握など、施設管理に関する総合調整を行う。また、 安全性・快適性・利便性の向上を図るため、適宜、施設の改善等を行う。 事 生涯学習センター及び体育施設について利用者懇談会を開催し、市民や関係団体等と協働して、施設利用者のニーズの把握等を行う 業 生涯学習センターでは、財団と連携を図りながら、市民との恊働による市民大学総合コースを始め、幅広い世代の多様なニーズに応える魅力ある 概 学習機会を提供し、学びと活動の循環を図る。 要 SUBARU総合スポーツセンターでは、財団、民間事業、関係団体と連携し、多世代を対象にした多種目のスポーツ教室事業、健康・体力相談事 業などを拡充し、スポーツに親しむ機会の創出やスポーツを取り入れた健康づくりを推進する。 事 【事業量】 量 施設運営協議会を毎月開催(年12回)・利用者懇談会の開催(各2回/年)(生涯学習課、スポーツ推進課) ・施設の改善等(適宜)・自衛消防訓練の実施(年2回) 初計画 事業参加、施設利用者数 70万人(三鷹中央防災公園・元気創造プラザ全体) [うち生涯学習センター7万5千人、SUBARU総合スポーツセンター40万人] 4 日 6 月 7 月 8 日 9 月 11月 12月 1月 2 月 3 月 施設運営協議会の開催(毎月) 施設の改善等(適宜) ケ ネーミングライツ(「SUBARU総合スポーツセンター」、「日本無線 中央広場」) ジ スポーツ教室の実施、健康・体力相談支援事業の実施 魅力ある学習機会の提供 ュ ○利用者懇談会(生涯学習課) ○利用者懇談会(生涯学習課) ○利用者懇談会(スポーツ推進課) 利用者懇談会(スポーツ推進課)○ ル ○自衛消防訓練 施設運営協議会の開催(年12回) ・施設の改善等(適宜) ・自衛消防訓練の実施(年2回) ・利用者懇談会の開催(各2回/年)(生涯学習課、スポーツ推進課) 成果日標 ・事業参加、施設利用者数 70万人(三鷹中央防災公園・元気創造プラザ全体) -7万5千人、SUBARU総合スポー [実績]・施設運営協議会を毎月開催した。・7/23に自衛消防訓練(第1回目)を実施した ・利用者懇談会(生涯学習課)を1回(7/21)開催し平成29年度「市長への提言及び意見書」を提出した。 上半期の ・生涯学習センター利用者数 25,331人(7月末現在) 実績・課題等 総合スポーツセンター利用者数 162,974人(7月末現在) 中 課題]・生涯学習センターの利用時間の区分の見直し、及びプール・トレーニング室の1時間利用料金の設定に 市民の要望を聞きながら、 見直しを検討し 評 費用対効果の観点から、施設全体の利用者数と経 事業評価 価 政策会議 費について分析するとともに、引き続き施設利用の 審杳会 評価・意見等 快適性向上に努めること 特記意見 主管課評価 事業評価審査会評価 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする 【事業量の実績】 ・施設運営協議会の開催(年12回)・利用者懇談会の開催(各2回/年)(生涯学習課、スポーツ推進課) 施設の改善等の実施(適宜)・自衛消防訓練の実施(年2回) ・事業参加、施設利用者数 80万人(三鷹中央防災公園・元気創造プラザ全体) [うち生涯学習センター7万2千人、SUBARU総合スポー -ツセンター50万人 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 10月 11月 12月 1月 2 月 3 月 施設運営協議会の開催(毎月) 施設の改善等(適宜) ケジ ネーミングライツ(「SUBARU総合スポーツセンター」、 「日本無線 中央広場」 魅力ある学習機会の提供 スポーツ教室の実施、健康・体力相談支援事業の実施 ュ ○利用者懇談会 1 ○利用者懇談会(生涯学習課) ○利用者懇談会(生涯学習課) ○利用者懇談会 (スポーツ推進課) ル ○自衛消防訓練 ○自衛消防訓練 (スポーツ推進課) 施設運営協議会の開催(年12回)・利用者懇談会の開催(生涯学習課:7/21、10/20、スポーツ推進課:11/7、2/20) 成果目標の 施設の改善等の適宜実施(サイン増設や利用者休憩室の床の改修等)・自衛消防訓練の実施(7/23、1/31) 事業参加、施設利用者数 816,262人(三鷹中央防災公園・元気創造プラザ全体) 達成状況 [うち生涯学習センター72,169人、SUBARU総合スポーツセンター506,064人] 施設に関する総合調整を行うことにより、指定管理者である公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団(以下「財団」という。)との協働に 後 よる円滑な管理運営を実施した。また、施設運営協議会を毎月開催するとともに、施設利用者のニーズを把握することにより、施設の改 評 善等を適宜行い、施設の安全性・快適性・利便性の向上を図った 価 生涯学習センターでは、財団と連携して引き続き、市民との協働による市民大学総合コースをはじめ、幅広い世代の多様なニーズに応 える魅力ある学習機会の提供を行った。また、利用者懇談会を2回開催し、施設の円滑な運営と利用者満足度の一層の向上に向けた検 討を行った。さらに、利用者の要望を反映して利用者の利便性を図るために生涯学習センターの利用方法を見直し、1時間単位で繰り 事業の総括 上げ及び延長して利用できるように条例改正を行った SUBARU総合スポーツセンターでは、財団、民間事業者や関係団体等と連携し、各種スポーツ教室やイベントを開催し、市民スポー (主管課) ツ活動(ボランティア活動を含む。)の充実を図るとともに、施設面、運用面における改善を図った。健康・体力相談事業については、市はシステム環境を整備し、財団を中心に事業を実施する中で、市民の健康増進が図られている。また、利用者懇談会を開催し、市民との 協働の運営を図った。利用者の要望を反映し、利便性を高めるため、プール、トレーニング室及びランニング走路の個人使用の料金に ついて、1時間利用料金を新設した。SUBARU総合スポーツセンターの利用者数は506,064人で、平成29年度利用者数387,553人に 比べ約1.3倍に増加し、多くの利用者から高い評価を得ている。 30年度予算 30年度実績 **事業評価** 予算額 418,401千円 418,433千円 算 審査会 執 373,212千円 決算額 評価·意見等 行 執行率(%) 89.2% 主管課評価 事業評価審査会評価 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)

#### 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫ 平成30年度

個別事業

事業名 三鷹市ゆかりの文学者に関する顕彰事業の推進 2 ス 掲載No 【事業概要】 「井の頭文学施設(仮称)」として整備を予定していた「太宰治記念文学館(仮称)」及び「吉村昭書斎(仮称)」については、都立井の頭恩賜公園以外の場所に設置することとした。今後、「三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業検討会議」を設置し、太宰治、吉村昭、津村節子、山本有三、 業 神沢利子など、市にゆかりのある文学者の顕彰事業を実施するとともに、「太宰治記念文学館(仮称)」及び「吉村昭書斎(仮称)」の整備に向 概 けた検討を継続する。 要 【事業量】 三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業検討会議」開催(年2回) 事 鷹市ゆかりの文学者の顕彰事業の実施 業 ・「太宰治記念文学館(仮称)」及び「吉村昭書斎(仮称)」の整備に向けた検討 量 太宰治寄託資料等の継続的展示 新たな寄贈受入れに向けた調査及び活用方法等の検討 10月 11月 12月 4 月 1月 2 月 3 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 計 ス ○検討会議(5/29) ○検討会議 画 三鷹市ゆかりの文学者の顕彰事業の実施 「太宰治記念文学館(仮称)」及び「吉村昭書斎(仮称)」の整備に向けた検討 ュ 1 太宰治寄託資料等の継続的展示 ル 新たな寄贈受入れに向けた調査及び活用方法等の検討 三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業検討会議」開催(年2回) 原市ゆかりの文学者の顕彰事業の実施 ・「太宰治記念文学館(仮称)」及び「吉村昭書斎(仮称)」の整備に向けた検討 成果目標 太宰治寄託資料等の継続的展示 新たな寄贈受入れに向けた調査及び活用方法等の検討 第1回「三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業検討会議」を平成30年5月29日に開催した。文学者個別の顕彰事業については、助言 上半期の 者会議を設置して検討することとし、学識経験者や市内外で活動されている方に委員を担っていただけるよう、調整を行った 実績・課題等 中 検討会議における積極的な議論を進め、引き続 間 事業評価 政策会議 施設整備に係る適地の選定をすすめつつ、常 評 審杳会 評価・意見等 設展示の実施についても検討をすすめること。 特記意見 主管課評価 事業評価審査会評価 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする 1 1 【事業量の実績】 「三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業検討会議」を、2回開催した。また、各助言者会議についても各1~2回開催した。三鷹市ゆかりの文学者の顕彰 事業として、「太宰治没後70年特別展」を約1か月にわたり開催し、「吉村昭と津村節子ー井の頭に暮らしてー」展を巡回展示として市内2カ所で約6 週間開催した。さらに、太宰治の文献学的研究の第一人者である研究者のご遺族から、太宰治に関する蔵書等(約2,300点)を新たに受入れ(寄 託)、活用に向けたデジタル台帳の作成を行った 10月 11月 12月 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 1月 2 月 3 月 ○検討会議 (5/29) ス ○検討会議(11/20) 文学者個別の助言者会議 太宰治没後70年特別展 三鷹市ゆかりの文学者の 「吉村昭と津村節子ー井の頭に暮らしてー」 展 ジ 顕彰事業の実施 ュ 太宰治記念文学館(仮称)」及び「吉村昭書斎(仮称)」の整備に向けた検討 1 太宰治関係資料等の継続的展示に向けた検討 ル 太宰治に関する蔵書等の受入れ(寄託)に係る調査及び活用方法等の検討 三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業検討会議」及び各助言者会議を中心に、三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業に いて企画・検討等を行うとともに、「太宰治記念文学館(仮称)」及び「吉村昭書斎(仮称)」の整備に向けた検討を 成果目標の 行った。また、「太宰治没後70年特別展」及び「吉村昭と津村節子ー井の頭に暮らしてー」展の開催では、市内外 達成状況 から多くの来場者が訪れ、充実した展示内容が大変好評であった。太宰治関係資料の継続的展示及び活用方法 事 等については、(公財)三鷹市スポーツと文化財団と協働し、検討を行った 後 評価 「三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業検討会議」(第1回:平成30年5月29日、第2回:平成30年11月20日)を開催し、 三鷹市ゆかりの文学者の顕彰事業のあり方等の検討を行った。また、各助言者会議(太宰治、吉村昭・津村節子、 山本有三、神沢利子)を開催し、文学者個別の顕彰事業についての企画・検討等を行い、事業の実施につなげて いくことを確認した 三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業の一環として開催した、平成30年度特別展「太宰治 三鷹とともに一太宰治没後 70年-」(会期:平成30年6月16日~7月16日)及び「吉村昭と津村節子-井の頭に暮らして-」展(会期①:平成 事業の総括 (主管課) 31年1月12日~2月2日、会期②:平成31年2月5日~2月24日)について、大変好評であったため、今後も関係団 体等と連携を図りながら、多彩な企画展を開催するなど、文化に親しむ環境を創出し、「文化の薫り高い三鷹」のま ちづくりを推進する。 文学施設の整備については、引き続き検討を進めていく。また、令和元(2019)年度は、太宰治生誕110年記念特 別展の開催を予定しており、新たに受入れ(=寄託)を行った太宰治に関する蔵書等を初公開できるよう、(公財) 鷹市スポーツと文化財団と協力し進めていく 30年度予算 30年度実績 予 事業評価 予算額 6.027壬円 6,027千円 算 審査会 執 決算額 2,971千円 評価・意見等 行 執行率(%) 49.3% 主管課評価 事業評価審査会評価 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)

東京2020オリンピック・パラリンピック等の気運醸成事業の積 個別事業 事業名 3 極的な推進とボランティア人財の育成・支援 掲載No 【事業概要】 「"2020年"に向けた三鷹市の基本方針(以下「基本方針」という。)」に基づき、東京2020オリンピック・パ ラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」という。)及びラグビーワールドカップ2019に向けて、トップアスリートによる水泳・バレーボール教室のほか、ラグビー教室の開催など気運醸成事業を積極的に推進する。基本方 針の推進にあたっては、「2018年度事業実施方針・事業概要(仮称)」を作成し、庁内本部体制を中心に調整を図 り、新たに地域連携組織を設置し取り組む。 ボランティア人財の育成・支援については、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団(以下「スポーツと文化財 団」という。)と連携し、試行的かつ実践的に取り組む。また、ボランティアポイント制度の実施に向けた検討を 事 進める。 【事業量】 馬術関連事業7日間、歌舞伎体操(3日間)、水泳教室(2日間)、バレーボール教室(ボール遊び教室(6日 初計 間)、競技力向上のための教室(6日間))、ボッチャ出前教室(6日間)等の実施。ボランティア講座、交流会 などの開催 画 4 月 5 月 6 月 7月 8 月 9 月 10月 11月 12月 1月 2 月 3 月 ○車いすバスケ事業 ○スポーツフェスティバル同時開催イベント ケジ ○タグラグビー教室 ○水泳教室 ○市民駅伝大会同時開催イベント ○歌舞伎体操 ○馬術関連事業① ○馬術関連事業② ュ バレーボール教室 (5月~11月) ボッチャ出前教室(5月~3月) 馬術関連事業③(6月~3月) Ι ○事業実施方針・事業概要(仮称)作成 ○地域連携組織設立 ル ボランティア人財育成・支援事業(ボランティア講座、交流会、ボランティア参加) ・各事業の目標参加者数1,700人以上 成果目標 ・「2018年度事業実施方針・事業概要(仮称)」の作成と地域連携組織の設置 ・スポーツボランティアの導入・養成のための講座等への参加者100人以上 気運醸成事業 歌舞伎体操(3日間 142人)、車いすバスケットボール事業(2日間)、バレーボール遊び事業(6 日間 167人)、ボッチャ出前教室(5日間)、タグラグビー教室(府中調布三鷹ラグビーフェスティバル 1日間 9人)、 上半期の 馬術関連事業(3日間)、バレーボール教室(5日間)、水泳教室(1日間) 実績・課題等 2 基本方針の推進 事業実施方針・事業概要作成 オリンピック・パラリンピック教育におけ 間評 る小中学校との連携については、教育課程や 事業評価 政策会議 カリキュラムとの整合を図りながら適切に行 審杳会 評価・意見等 うこと。 特記意見 大学との連携については、包括協定などに 基づき積極的に行うこと 主管課評価 事業評価審査会評価 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする 馬術関連事業(ふれあい体験 3日間 117人、体力向上 4日間 110人)、歌舞伎体操(3日間 142人)、水泳教室(2日間 74人)、 バレーボール教室(ボール遊び教室 6日間 167人、競技力向上 5日間 延べ111人)、ボッチャ出前教室(6日間 275人)、スポー ツボランティア育成事業(講習会等3日間 116人、ボランティア参加 14人)、スポーツパフォーマンステスト(1日間 220人)、走りっ子 教室(1日間 88人)、車いすバスケットボール事業(1日間 132人)、タグラグビー教室(市内小学校 15回 240人、三市 1日 30 人)、東京2020大会等に向けた地域連携会議(以下「地域連携会議」という)の開催(1回) 8 月 9 月 10月 12月 4 月 6 月 7月 1月 ○スポーツフェスティバル同時開催イベント ○車いすバスケ事業 ○歌舞伎体操 ○水泳教室 ○市民駅伝大会同時開催イベント ス ○馬術関連事業① ○馬術関連事業② ○馬術関連事業③ ケジ 〇バレーボール教室 (5月~9月) ○ボッチャ出前教室(6月~10月) ュ ○馬術関連事業④ (7月~11月)○タグラグビー教室① -**→** ○タグラグビー教室②<u>(1月~2</u>月) ル ○ボランティア人財育成・支援事業 (ボランティア講座、ボランティア参加) ○事業実施方針・事業概要作成 ○地域連携会議設置 事 各種事業への参加者数については、1,836人となり目標を上回った。 「2018年度事業実施方針・事業概 · 後評 要(以下「事業概要」という。)」を8月に作成、事前キャンプ誘致等で一部目標を未達成であるが、地域連携会議を3月に設置した。ボランティアの育成については、東京2020大会「都市ボランティア」の募 成果日標の 達成状況 集等と連動し新たに約140人が登録し、各種事業・講習に56人の参加があった。 基本方針に基づき、東京2020大会等気運醸成事業を10件、延べ50日にわたり1,836人が参加した。オリ ンピアン多治見麻子さんらによるバレーボール教室、車いすバスケットカナダ代表チームと南浦小学校5 年生との交流を実施した。ラグビー関連では府中調布三鷹ラグビーフェスタ2018、市内小学校でのタグラ グビー出前教室など気運醸成を図った。東京2020大会事前キャンプの誘致には至らなかったが事業概要を 事業の総括 作成し計画に沿って事業を進め地域連携会議を設置した。また、東京2020大会に関して都市ボランティア (主管課) 募集、自転車ロードレース、三鷹ゆかりのアスリート紹介など市ホームページを充実し情報発信した。ボランティア人財については、東京2020大会都市ボランティア(三鷹市推薦者)などの募集と連動し登録者 に対して情報提供のネットワークを構築することができた。 30年度予算 30年度実績 予 事業評価 7,942千円 算 予算額 8,223千円 審杳会 7,969千円 執 決算額 評価・意見等

執行率(%)

S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)

96.9%

行

事業評価審査会評価

主管課評価

		【事業概	要】										
当初計画	・概要・事	財団と連携を図りながら、市民との協働による市民大字総合コース、むらさき字苑等の多彩な生涯学習プログラムの提供及び全市的な生涯学習事業を推進し、「学びと活動の循環」の創出に向け、生涯学習審議会と生涯学習プラン推進会議(庁内会議)との効果的な連携に努める。さらに、市民の利便性向上のため、ルーテル学院大学、国際基督教大学で実施している市民大学聴講生事業の申込窓口を三鷹ネットワーク大学にも設置する。											
	業量	【事業量】 ・生涯学習審議会を年4回開催 ・生涯学習プラン推進会議を年4回開催 ・市民聴講生事業(国際基督教大学、ルーテル学院大学)の申込窓口の拡充											
	ス	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1月	2 月	3 月
	ケ		○ 生涯学	習審議会	○生涯学習	審議会			○生涯	学習審議会		○生涯学習	審議会
	ジュー		○生涯学習プラン推進会議 ○生涯学習プラン推進会議 ○生涯学習プラン推進会議 「生涯学習プラン推進会議 「生涯学習プラン推進会議 「生涯学習プラン推進会議 「生涯学習プラン推進会議 「推進会議										
	ル	○市民頭	· 講生事業	(市内2大学)				マ学に設置					
		0 1117 (11		習審議会(年					(年4回)	の効果的な	連携		
	成	<b>艾果目標</b>										、申込者数	女を70人とす
				在京四学录	A ≠ 0 □ /4	/0.4	(0.0) #-	压 示 44 ~ ~	: \ <del>\</del>	-¥/	*/ * 1 -	1 / E / 1 A \ BB / H	412 +0
				・進字智番議会 ・業は4月に「									望した。市民
		上半期の		未は4月に「中のため、生								来四 <b>夕</b> 世1	COME C
	実績	・課題等		生涯学習審調								れるよう、	生涯学習プ
中間			ラン推進	会議からの情	青報提供が	充実する	るよう検	討する必要	『がある。				
間評			生涯学	習の推進に	ついては、	多世代不	交流セン		H	- 涯学習事業	<b>⇒参加者</b> σ	実態やニー	-ズを適切に
価	事業評価 審査会 特記意見		ターの取	り組みと連打	隽を図るこ	とが望る	ましい。	政策会訓	tm ti				ともに、「学
ІШ								以東云	夏等 びと		しについ	ヽては効果0	り見える化を
									図る	らこと。			
	主管課評価		1	事業評価審	本会証価	1	1 番占6	ない一致し組まり	2 経営業	務の一環として	取り組む	3 目洋スニリ	トレオス
			1	<b>学术</b> 正侧街	且云叶侧	1	1 主爪口	ガー状が辿む	2 性市未	物の 珠として	. 4X 7 /in C	0 元とること	
	【事業量の実績】 ・生涯学習審議会及び生涯学習プラン推進会議を年4回開催 ・市民聴講生事業(国際基督教大学、ルーテル学院大学)の申込窓口の拡充												
	· 生	涯学習審講						込窓口の拡	太充				
	· 生	涯学習審講						込窓口の拡 <b>10月</b>	太充 11 <b>月</b>	12月	1月	2 月	3 月
	・・・・・・・ホースケ	涯学習審講 民聴講生事	¥ (国際	《基督教大学 6 月	、ルーテル	学院大学 8 月	学) の申		11 <i>F</i>	12月 学習審議会	1月	<b>2月</b> ○生涯学習	
	・・ スケジ	涯学習審講 民聴講生事	<b>5月</b> ○ 生涯学	《基督教大学 6 月	、ルーテル 7月 〇生涯学習	学院大 <sup>2</sup> 8 月 3 審議会	学) の申		11 <i>F</i>		1月		
	・・・・・・・ホースケ	涯学習審請 民聴講生事	<b>5月</b> ○ 生涯学	基督教大学 6 月 習審議会	、ルーテル 7月 ○生涯学習 シガ推進会議	学院大 8 月 習審議会	学)の申 <b>9月</b>	10月	11 <i>F</i>		1月		
	・・・スケジュ	涯学習審請 民聴講生事	<b>5月</b> ○ 生涯学	<ul><li>基督教大学</li><li>6月</li><li>習審議会</li><li>)生涯学習プラ</li></ul>	、ルーテル 7月 ○生涯学習 シガ推進会議	学院大 8 月 習審議会	学)の申 <b>9月</b>	10月	11 <i>F</i>		1月		
	・・・スケジュー	涯学習審請 民聴講生事	<b>5月</b> ○ 生涯学 ○ 生涯学 感講生事業	<ul><li>基督教大学</li><li>6月</li><li>習審議会</li><li>)生涯学習プラ</li></ul>	、ルーテル 7月 ○生涯学習 ・ン推進会議 の窓口をヨ	学院大 8月 8審議会 に鷹ネッ	学)の申 <b>9月</b> トワークナ	10月	11月	学習審議会		○生涯学習	
	・・ スケジュール	涯学習審議 民聴講生事 4月 ○市民耶	事業 (国際 5月 ○生涯学 ・生涯学 ・生涯学	基基督教大学 6 月 習審議会 )生涯学習プラ (市内2大学)	、ルーテル 7月 ○生涯学習 ン推進会議 の窓口をヨ 予定通り年	学院大 8 月 習審議会 E鷹ネッ 4 回開係	学)の申 <b>9月</b> トワークオ 催した。	10月	11月	学習審議会		○生涯学習	
	生市 スケジュール 成	涯学習審請 民聴講生事	事業 (国際 5月 ○生涯学 ・生涯学 ・生涯学	番組 教大学 6月 習審議会 )生涯学習プラ (市内 2大学) 習審議会は	、ルーテル 7月 ○生涯学習 ン推進会議 の窓口をヨ 予定通り年	学院大 8 月 習審議会 E鷹ネッ 4 回開係	学)の申 <b>9月</b> トワークオ 催した。	10月	11月	学習審議会		○生涯学習	
	生市 スケジュール 成	涯学習審講生事 民聴講生事 4月 ○市民事	事業 (国際 5月 ○生涯学 ・生涯学 ・生涯学	番組 教大学 6月 習審議会 )生涯学習プラ (市内 2大学) 習審議会は	、ルーテル 7月 ○生涯学習 ン推進会議 の窓口をヨ 予定通り年	学院大 8 月 習審議会 E鷹ネッ 4 回開係	学)の申 <b>9月</b> トワークオ 催した。	10月	11月	学習審議会		○生涯学習	
事	生市 スケジュール 成	涯学習審講生事 民聴講生事 4月 ○市民事	<ul><li>事業(国際</li><li>5月</li><li>○生涯学</li><li>○ 集業</li><li>○生事業</li><li>・ 生民</li><li>・ 市民</li></ul>	6月 習審議会 )生涯学習プラ (市内2大学) 習審議会は 習審議会は 講生の受講者	、ルーテル 7月 ○生涯学習 シ推進会議 の窓口を三 予定通り年 者数は56人	学院大学 8月 3番議会 2階ネッ 4回開作であった	学)の申 <b>9月</b> トワークナ 崔した。	10月 	11月 ○生涯 『ラン推進	学習審議会 金議は年1년	回の開催	○生涯学習 とした。	審議会
事後	生市 スケジュール 成	涯学習審講生事 民聴講生事 4月 ○市民事	<b>3 月</b>	6月 習審議会 ②生涯学習プラ (市内2大学) 習審議会は 習審議会は 習審議会を 『三鷹市生》	、 ハーテル 7月 〇生涯学 でン推進会を三 のの窓 三 手数 に 正 で数 に 手 大 上 学 で ま で ま で ま で ま ・ 本 で 手 大 生 業 ・ 本 で 手 ・ 本 で ま で ま ・ 本 で ま で ま ・ 本 で ま で ま で ま ・ 本 で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で	学院大 <b>8月</b> 習審議ネッ 4で 4で 4の 4会・ 4会・	学) の 月 9 月 トワーク <sup>†</sup> に に た。 と と に 、 と き し た 会 会 し 、 、 、 と し 、 、 、 と 、 と 、 と 、 と 、 、 と 、 と	10月 学に設置 生涯学習フ 生涯学習計画 教育委員会	11月 ○生涯 『ラン推進 『を推進す 記義の意見	学習審議会 会議は年1년 るために、 と」の内容に	回の開催 任期満了	○生涯学習 とした。 ・ 時に市長及 討した。す	をび教育長に そで、「学び
後評	生市 スケジュール 成	涯学習審講生事 民聴講生事 4月 ○市民事	事業5月5月5月○生事生市生市生出活動生力学るの	を	、ルーテル 7月 〇生涯学 でン推進会を三 下変はは56人 予度学では、 予度学でである。 予度では、 予度では、 のの審判では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	学院大 8 月 3 審議ネ 回 9 回・ 4 会・ 4 会・ 4 会・ 4 会・ 4 会・ 4 会・ 4 会・ 4 会	学) <b>9 月</b> り <b>9 月</b> ト ワーク ナ し、社ラン 生 会ン	10月 大学に設置 生涯学習フ 生涯学習計画会 推進会議	11月 〇生涯 プラン推進 「を推進す 「読の会議	学習審議会 全会議は年1 つるために、 よ」の内容に 後)を開催し	回の開催 任期満了 行い、生涯学	○生涯学習 とした。 時に市長及す で割審議会と	をび教育長に そで、「学び この連携を
後	生市 スケジュール 成	涯学習審講生事 民聴講生事 4月 ○市民事	事業5月5月生5月生生生生生上生上上 <t< th=""><th>を</th><th>、 ルーテル 7月 〇生涯会を シン推窓 単数に 手数に 手数に 手数に 手数に 手数に 手数に 手数に 手</th><th>学院大 8 月 3 審議 4 で 4 会生 4 会生 8 議 9 回・ 1 に 4 会生 8 議 9 回・ 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に</th><th>学 <b>9 月</b> ト 催き。 催奮習よ、 他 本 で は 市 プ 、 社 ラ 委</th><th>10月 大学に設置 生涯学習フ 生涯学習計画会 推進会議</th><th>11月 〇生涯 プラン推進 「を推進す 「読の会議</th><th>学習審議会 全会議は年1 つるために、 よ」の内容に 後)を開催し</th><th>回の開催 任期満了 行い、生涯学</th><th>○生涯学習 とした。 時に市長及す で割審議会と</th><th>をび教育長に そで、「学び</th></t<>	を	、 ルーテル 7月 〇生涯会を シン推窓 単数に 手数に 手数に 手数に 手数に 手数に 手数に 手数に 手	学院大 8 月 3 審議 4 で 4 会生 4 会生 8 議 9 回・ 1 に 4 会生 8 議 9 回・ 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に	学 <b>9 月</b> ト 催き。 催奮習よ、 他 本 で は 市 プ 、 社 ラ 委	10月 大学に設置 生涯学習フ 生涯学習計画会 推進会議	11月 〇生涯 プラン推進 「を推進す 「読の会議	学習審議会 全会議は年1 つるために、 よ」の内容に 後)を開催し	回の開催 任期満了 行い、生涯学	○生涯学習 とした。 時に市長及す で割審議会と	をび教育長に そで、「学び
後評	生市 スケジュール 成達	涯学習審議生事 民聴講生事 4 月 ○市民耶 果目標の 能成状況	事業5月5月5月5月5月生生生生生生上上	基督教大学 6月 習審議会 2生涯学習プラ (市内2大学) 習審生の受講 審鷹」の年達 会市の 会話 で で で で で で で の 生 に で り 生 に で り 生 に で り 生 に り に り に り に り に り に り に り に り に り	<ul><li>、 1月</li><li>○生生</li><li>○生生</li><li>○生生</li><li>○生生</li><li>○生生</li><li>日の</li><li>○生生</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の</li><li>日の&lt;</li></ul>	学 8 月	学 9月 ト 催き 催誓習よなの 9月 ト 催き し市プ、っ	10月 大学に設置 生涯学習フ 生涯学習計画会議 推進よる意 推進よる意	11月 ○生涯 『ラン推進 『意様 進す 『前を 作内会 記書の まと	学習審議会 全会議は年1년 るために、に と」の開催し め作業を主	回の開催 任期満了 付い、生 とするも	○生涯学習 とした。 時に市長及 計であった であった	をび教育長に そた、「学び」 この連携を こため、生涯
後評	生市 スケジュール 成達 事	涯学習審講生事 民聴講生事 4月 ○市民事	事業5月5月5生生生生出活っ習市生出活っ習市進す動たプ民提と図学	番	<ul><li>へ 7 月</li><li>一 月</li><li>一 月</li><li>一 2 推進</li><li>一 2 推進</li><li>一 2 推進</li><li>一 3 下 直</li><li>計 2 下 直</li><li>計 3 下 直</li><li>計 4 下 直</li><li>計 5 下 直</li><li>計 5 下 直</li><li>計 5 下 直</li><li>計 7 下 直</li><li></li></ul>	学 8 月 著 審 ネ 回あ 回・ 理 第 ネ 回あ 回・ 関 三 学会と学 イ で 4 会生 番 催 大 月 会 ッ 開っ 関 に 第 に	学 <b>9 月</b> ト 催ご 催奮習よなり の <b>9 月</b> ト で 、社ラ委たか 生会ン員。に	10月 大学に設置 生涯学習 生涯学習 書員議員 ルーテル学	11月 〇生涯 プラン推進 道議の内会ま は で で で で で で で で で で で で で	学習審議会 全会議は年1回 こっため内開催にした。 というを開催を主 国際基督教	回の開催 任期満了権 つくまる とする と	<ul><li>○生涯学習</li><li>とした。</li><li>時にした。</li><li>時にした。</li><li>時にした。</li><li>時にした。</li><li>がした。</li></ul>	審議会 なび教育長に たた、連携を たため、生涯 たため、生涯
後評	生市 スケジュール 成達 事	涯学習審請生 民職講生事 4 月 ○ 市民耶 果目標の 達成状況	事業5月5月5生生生生出活っ習市生出活っ習市生遅す動たプ民事学るの。ラの業	番	<ul><li>へ 7 月</li><li>一 月</li><li>一 月</li><li>一 上 推 密</li><li>一 上 推 密</li><li>一 方 と 推 密</li><li>一 方 と 本 と で ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま</li></ul>	学     8 番       選審     本       国の     回・       国・     運送会と       展別     で       4 会生審開休り     体別       原別     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       1 会     で       2 会     で       2 会     で       3 会     で       3 会     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       5 で     で       5 で     で       6 で     で       6 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で <tr< th=""><th>学 9 月 ド 崔</th><th>10月   10月   10   10月   1</th><th>11月 ○生涯 『ラン推進 進意内の 主読( たき) にたさ にたさ にたさ</th><th>学習審議会 全会議は年1回 このため内解催した。 というのを開発をした。 国際基督教 に(公財)三鷹</th><th>回の開催 任期満て輝い生す でポートンと 大子スト</th><th>○生涯学習とした。 時計習のにした。 「時計習のでして文化」</th><th>をび教育長に そた、「学び」 この連携を こため、生涯</th></tr<>	学 9 月 ド 崔	10月   10   10月   1	11月 ○生涯 『ラン推進 進意内の 主読( たき) にたさ にたさ にたさ	学習審議会 全会議は年1回 このため内解催した。 というのを開発をした。 国際基督教 に(公財)三鷹	回の開催 任期満て輝い生す でポートンと 大子スト	○生涯学習とした。 時計習のにした。 「時計習のでして文化」	をび教育長に そた、「学び」 この連携を こため、生涯
後評	生市 スケジュール 成達 事	涯学習審請生 民職講生事 4 月 ○ 市民耶 果目標の 達成状況	事業5月5月5生生生生出活っ習市生出活っ習市生遅す動たプ民事学るの。ラの業	番	<ul><li>へ 7 月</li><li>一 月</li><li>一 月</li><li>一 上 推 密</li><li>一 上 推 密</li><li>一 方 と 推 密</li><li>一 方 と 本 と で ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま</li></ul>	学     8 番       選審     本       国の     回・       国・     運送会と       展別     で       4 会生審開休り     体別       原別     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       1 会     で       2 会     で       2 会     で       3 会     で       3 会     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       5 で     で       5 で     で       6 で     で       6 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で <tr< td=""><td>学 9 月 ド 崔</td><td>10月   10月   10   10月   1</td><td>11月 ○生涯 『ラン推進 進意内の 主読( たき) にたさ にたさ にたさ</td><td>学習審議会 全会議は年1回 このため内解催した。 というのを開発をした。 国際基督教 に(公財)三鷹</td><td>回の開催 任期満て輝い生す でポートンと 大子スト</td><td>○生涯学習とした。 時計習のにした。 「時計習のでして文化」</td><td>審議会 をび教育「学を をた、連携、 たた連め、 大連携を が付きたができる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td></tr<>	学 9 月 ド 崔	10月   10   10月   1	11月 ○生涯 『ラン推進 進意内の 主読( たき) にたさ にたさ にたさ	学習審議会 全会議は年1回 このため内解催した。 というのを開発をした。 国際基督教 に(公財)三鷹	回の開催 任期満て輝い生す でポートンと 大子スト	○生涯学習とした。 時計習のにした。 「時計習のでして文化」	審議会 をび教育「学を をた、連携、 たた連め、 大連携を が付きたができる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
後評	生市 スケジュール 成達 事	涯学習審請生 民職講生事 4 月 ○ 市民耶 果目標の 達成状況	事業5月月5月5月5年生生生生生上上<	番	<ul><li>へ 7 月</li><li>一 月</li><li>一 月</li><li>一 上 推 密</li><li>一 上 推 密</li><li>一 方 と 推 密</li><li>一 方 と 本 と で ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま</li></ul>	学     8 番       選審     本       国の     回・       国・     運送会と       展別     で       4 会生審開休り     体別       原別     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       1 会     で       2 会     で       2 会     で       3 会     で       3 会     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       5 で     で       5 で     で       6 で     で       6 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で <tr< th=""><th>学 9 月 ド 崔</th><th>10月   10月   10   10月   1</th><th>11月 ○生涯 『ラン推進 進意内の 主読( たき) にたさ にたさ にたさ</th><th>学習審議会 全会議は年1回 このため内解催した。 というのを開発をした。 国際基督教 に(公財)三鷹</th><th>回の開催 任期満て輝い生す でポートンと 大子スト</th><th>○生涯学習とした。 時計習のにした。 「時計習のでして文化」</th><th>審議会 をび教育「学を をた、連携、 たた連め、 大連携を が付きたができる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</th></tr<>	学 9 月 ド 崔	10月   10   10月   1	11月 ○生涯 『ラン推進 進意内の 主読( たき) にたさ にたさ にたさ	学習審議会 全会議は年1回 このため内解催した。 というのを開発をした。 国際基督教 に(公財)三鷹	回の開催 任期満て輝い生す でポートンと 大子スト	○生涯学習とした。 時計習のにした。 「時計習のでして文化」	審議会 をび教育「学を をた、連携、 たた連め、 大連携を が付きたができる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
後評	生市 スケジュール 成達 事	涯学習審請生 民職講生事 4 月 ○ 市民耶 果目標の 達成状況	事業5月月5月5月5年生生生生生上上<	番	<ul><li>へ 7 月</li><li>一 月</li><li>一 月</li><li>一 上 推 密</li><li>一 上 推 密</li><li>一 方 と 推 密</li><li>一 方 と 本 と で ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま で ま ま で ま ま で ま</li></ul>	学     8 番       選審     本       国の     回・       国・     運送会と       展別     で       4 会生審開休り     体別       原別     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       4 会生審開休り     で       日本     で       1 会     で       2 会     で       2 会     で       3 会     で       3 会     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       4 で     で       5 で     で       5 で     で       6 で     で       6 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で       7 で     で <tr< th=""><th>学 9 月 ド 崔</th><th>10月   10月   10   10月   1</th><th>11月 ○生涯 『ラン推進 進意内の 主読( たき) にたさ にたさ にたさ</th><th>学習審議会 全会議は年1回 このため内解催した。 というのを開発をした。 国際基督教 に(公財)三鷹</th><th>回の開催 任期満て輝い生す でポートンと 大子スト</th><th>○生涯学習とした。 時計習のにした。 「時計習のでして文化」</th><th>審議会 をび教育「学を をた、連携、 たた連め、 大連携を が付きたができる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</th></tr<>	学 9 月 ド 崔	10月   10   10月   1	11月 ○生涯 『ラン推進 進意内の 主読( たき) にたさ にたさ にたさ	学習審議会 全会議は年1回 このため内解催した。 というのを開発をした。 国際基督教 に(公財)三鷹	回の開催 任期満て輝い生す でポートンと 大子スト	○生涯学習とした。 時計習のにした。 「時計習のでして文化」	審議会 をび教育「学を をた、連携、 たた連め、 大連携を が付きたができる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
後評	生市 スケジュール 成達 事	涯学習審請生 民職講生事 4 月 ○ 市民耶 果目標の 達成状況	事業・・提と図学講図行1方大大生生生出まま<	番	へ7月月上上上<	学     8	学 9 月 日	10月   10   10月   1	11月 〇生涯 プラン推進意会ま 推議意会ま 学らきき でいるさ	学習審議会 会議は年1년 るため内保し、に とし、を のの開催しま とは、 といた。 とい	回の開催 任期満て輝い生す でポートンと 大子スト	○生涯学習とした。 時計審談の でした。 で文字ででいる。 で文字ででいる。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	音議会 なび教、博を をたの連め、大連携、 大連携、 大連携の がは では では では では では では では では では で
後評	・・ スケジュール 成選 事(	涯学習審議生事   4 月	事業5 生生生生5 生生生生1 月涯事涯ま1 日本生生生2 日本大まま2 日本大まま2 日本大まま2 日本大まま2 日本よまま2 日本よまま3 日本ままま3 日本ままま4 日本ままま5 日本ままま6 日本ままま7 日本ままま <td>番</td> <td>へ7722333434343434443444<t< td=""><td>学 8 庸 に 4で 4会生審開林トる 、</td><td>学 9 月 ト 催き</td><td>10月   10月   10月  </td><td>11月 〇生涯 プラン推進意会ま 推議意会ま 学らきき でいるさ</td><td>学習審議会 会議は年1回 るために、に ものの開発を は、 は、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、</td><td>回の開催 任期満て涯る でポープ 大市な生涯 学</td><td>○生涯学習とした。 時計習のにした。 「時計習のでして文化」</td><td>審議会 をび教、長にび をたた連、大連機会 をたた連次となる。 ではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td></t<></td>	番	へ7722333434343434443444 <t< td=""><td>学 8 庸 に 4で 4会生審開林トる 、</td><td>学 9 月 ト 催き</td><td>10月   10月   10月  </td><td>11月 〇生涯 プラン推進意会ま 推議意会ま 学らきき でいるさ</td><td>学習審議会 会議は年1回 るために、に ものの開発を は、 は、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、</td><td>回の開催 任期満て涯る でポープ 大市な生涯 学</td><td>○生涯学習とした。 時計習のにした。 「時計習のでして文化」</td><td>審議会 をび教、長にび をたた連、大連機会 をたた連次となる。 ではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td></t<>	学 8 庸 に 4で 4会生審開林トる 、	学 9 月 ト 催き	10月 	11月 〇生涯 プラン推進意会ま 推議意会ま 学らきき でいるさ	学習審議会 会議は年1回 るために、に ものの開発を は、 は、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	回の開催 任期満て涯る でポープ 大市な生涯 学	○生涯学習とした。 時計習のにした。 「時計習のでして文化」	審議会 をび教、長にび をたた連、大連機会 をたた連次となる。 ではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
後評	・・ スケジュール 成選事(:	涯学習審請生 民職講生事 4 月 ○ 市民耶 果目標の 達成状況	事業・・提と図学講図行ま111<	番 6 月 習講 習「循平ン利のら 習 番 進 2 に 2 で 2 に 2 で 3 で 3 で 4 に 3 で 4 に 3 で 4 に 3 で 5 で 5 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に 4 に	へ7722334555 <t< td=""><td>学 8 講     4で     4会生審開林トる     、関       大 月 会     ッ 開っ     開こ学会と学ー民     鷹る</td><td>学 9 月 ト 催さ</td><td>10月                                      </td><td>11月 〇生涯 プラン推進意会ま 推議意会ま 学らきき でいるさ</td><td>学習審議会 会議は年1년 るため内保し、に とし、を のの開催しま とは、 といた。 とい</td><td>回の開催 任期満て涯る でポープ 大市な生涯 学</td><td>○生涯学習とした。 時計審談の でした。 で文字ででいる。 で文字ででいる。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき</td><td>本議会 をび教育長にび をた、連携を たた。 たた。 たた。 たた。 たた。 たた。 たた。 たた</td></t<>	学 8 講     4で     4会生審開林トる     、関       大 月 会     ッ 開っ     開こ学会と学ー民     鷹る	学 9 月 ト 催さ	10月 	11月 〇生涯 プラン推進意会ま 推議意会ま 学らきき でいるさ	学習審議会 会議は年1년 るため内保し、に とし、を のの開催しま とは、 といた。 とい	回の開催 任期満て涯る でポープ 大市な生涯 学	○生涯学習とした。 時計審談の でした。 で文字ででいる。 で文字ででいる。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	本議会 をび教育長にび をた、連携を たた。 たた。 たた。 たた。 たた。 たた。 たた。 たた
後評	- ・・ スケジュール 成 選 事 :: 事 ::	涯学 選集主	事業・・提と図学講図行ま将研(国月涯事 涯民生出活っ習市生りっ生ち来究理す動たプ民事なた涯づ課結変変学るの。ラの業が。学く題果	番 6 月 習講 習「循平ン利のら 習り総子とは 1 で 1 で 2 で 2 で 2 で 3 で 4 で 3 で 4 で 4 で 4 で 5 で 4 に 6 で 5 で 4 に 6 で 6 で 6 で 6 で 6 で 7 で 6 で 7 で 6 で 7 で 7	へ     7       月     注       上     月       上     2       大     方       上     上       上<	学     8 審     2 幅       4 で     4 会生審開林トる     、関お       大     月     会     ッ 開っ       原るる     の     原るる       原るる     の     原るる	学 P 催さ 催奮習はなのケ大	10月	11月 〇生涯 プラン推進意会ま 推議意会ま 学らきき でいるさ	学習審議会 会議は年1回 るために、に ものの開発を は、 は、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	回の開催 任期満て涯る でポープ 大市な生涯 学	○生涯学習とした。 時計審談の でした。 で文字ででいる。 で文字ででいる。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 で文字である。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	をび教育 長学を でた、連携、 大連携、 大連携を が付した。 が可との提供を を 大連供を でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 できる。 はずしい。 できる。 できる。 はずしい。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる
後評	- ・・ スケジュール 成選 事(: 事::: 評	涯学 選集主	事業・・提と図学講図行ま将5 生生生生市生出大とまでまでままでまでまでまでまでまでまままでまま <td< th=""><th>番 6 月 習講 習「循平ン利のら 習りの の総調 を生 1 に 1 で 1 で 2 で 2 で 2 で 3 で 3 の 3 で 4 で 3 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で</th><th>、 1予者予度出のよのをのあ所分で人 7人 推窓定数定学に生年た三協た「科会計 で改」を力 2選問の審け学回、本にで改」をの 4では、 2では、 3の 5では、 3では、 3の 6では、 3では、 3の 7では、 3では、 3の 7では、 3では、 3の 7では、 3では、 3の 8では、 3では、 3の 8では、 3では、 3の 9では、 3では、 4の 9では、 4では、 4の 9<t< th=""><th>学     8 審     2 幅       4 で     4 会生審開林トる     、関お       大     月     会     ッ 開っ       原るる     の     原るる       原るる     の     原るる</th><th>学     ト     確定     産業習はなのク大       り     9     し市プ、つほ大学     予算執行       の     9     ク     た     、社ラ委たか学総     予算執行       申     月     ク     (上) 様</th><th>10月   10月   に設置   フ   生涯   学育進よ 一設   一設   一記   一記   一記   一記   一記   一記  </th><th>11月 ○生涯 プラン推進 道議(庁書の大ささき) は、ことでである。 3</th><th>学習審議会 会議は年1回 るために、に ものの開発を は、 は、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、</th><th>回の開催 任期満て涯る でポ涯 子門 一</th><th>○ 生涯学習 とした。 時計習の にし審で しとプログラ 30年度</th><th>をび教育長にびたた。連然 である。 である。 である。 ではたい連続、 大連携を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</th></t<></th></td<>	番 6 月 習講 習「循平ン利のら 習りの の総調 を生 1 に 1 で 1 で 2 で 2 で 2 で 3 で 3 の 3 で 4 で 3 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で	、 1予者予度出のよのをのあ所分で人 7人 推窓定数定学に生年た三協た「科会計 で改」を力 2選問の審け学回、本にで改」をの 4では、 2では、 3の 5では、 3では、 3の 6では、 3では、 3の 7では、 3では、 3の 7では、 3では、 3の 7では、 3では、 3の 8では、 3では、 3の 8では、 3では、 3の 9では、 3では、 4の 9では、 4では、 4の 9 <t< th=""><th>学     8 審     2 幅       4 で     4 会生審開林トる     、関お       大     月     会     ッ 開っ       原るる     の     原るる       原るる     の     原るる</th><th>学     ト     確定     産業習はなのク大       り     9     し市プ、つほ大学     予算執行       の     9     ク     た     、社ラ委たか学総     予算執行       申     月     ク     (上) 様</th><th>10月   10月   に設置   フ   生涯   学育進よ 一設   一設   一記   一記   一記   一記   一記   一記  </th><th>11月 ○生涯 プラン推進 道議(庁書の大ささき) は、ことでである。 3</th><th>学習審議会 会議は年1回 るために、に ものの開発を は、 は、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、</th><th>回の開催 任期満て涯る でポ涯 子門 一</th><th>○ 生涯学習 とした。 時計習の にし審で しとプログラ 30年度</th><th>をび教育長にびたた。連然 である。 である。 である。 ではたい連続、 大連携を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</th></t<>	学     8 審     2 幅       4 で     4 会生審開林トる     、関お       大     月     会     ッ 開っ       原るる     の     原るる       原るる     の     原るる	学     ト     確定     産業習はなのク大       り     9     し市プ、つほ大学     予算執行       の     9     ク     た     、社ラ委たか学総     予算執行       申     月     ク     (上) 様	10月   10月   に設置   フ   生涯   学育進よ 一設   一設   一記   一記   一記   一記   一記   一記	11月 ○生涯 プラン推進 道議(庁書の大ささき) は、ことでである。 3	学習審議会 会議は年1回 るために、に ものの開発を は、 は、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	回の開催 任期満て涯る でポ涯 子門 一	○ 生涯学習 とした。 時計習の にし審で しとプログラ 30年度	をび教育長にびたた。連然 である。 である。 である。 ではたい連続、 大連携を では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、

個別事業

掲載No

ス

5

太宰治没後70年の特別展の実施と生誕110年記念事業に向けた

事業名

取り組み 【事業概要】 平成30年は太宰治没後70年にあたることから、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団との協働により、桜桃忌 事 の時期にあわせて、特別展を開催する。 業 また、令和元(2019)年は太宰治生誕110年にあたることから、同財団との協働により、記念事業に向けた取り組み 概 を実施する。 要 【事業量】 事 平成30年6月16日~7月16日の期間中、三鷹市美術ギャラリーにて平成30年度特別展「太宰治 三鷹とともに」 業 を開催する。 (来場者数:7,000人) 量 初 太宰治生誕110年記念事業に向けた調査・検討などを行う。 計 曲 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10月 11月 12月 1月 2 月 3 月 ス ケジ 「太宰治 三鷹とともに」-太宰治没後70年特別展-ュ 会期6月16日(土)~7月16日(月) 太宰治生誕110年記念事業に向けた調査 ル ・太宰治没後70年特別展の開催(来場者数:7,000人) 成果目標 ・太宰治生誕110年記念事業に向けた調査・検討の完了 太宰治没後70年特別展の来場者数は、5,510人となり、充実した展示内容に大変好評を得た 太宰治生誕110年記念事業に向けて、新たに太宰治に関する蔵書等の受入れを9月中旬に予定している。 上半期の 今後は、 (公財) 三鷹市スポーツと文化財団と協働して調査し、資料の活用方法について検討を進めてい 実績・課題等 中 間 検討会議における積極的な議論を進め、引 評 事業評価 き続き、施設整備に係る適地の選定をすすめ 政策会議 審査会 つつ、常設展示の実施についても検討をすす 評価・意見等 特記意見 めること。 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする 主管課評価 事業評価審査会評価 1 【事業量の実績】 平成30年度特別展「太宰治 三鷹とともに-太宰治没後70年-」(会期:平成30年6月16日~7月16日、来場者数:5,510人)及び 関連イベントとして記念講演会(平成30年6月24日、来場者数:93人)を開催した。また、太宰治生誕110年記念事業に向けて、太宰 治に関する蔵書等を新たに受入れ(寄託)、調査・検討などを行った 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10月 11月 12月 1月 2 月 3 月 ス 三鷹とともに」-太宰治没後70年特別展-「太宰治 ジ 会期6月16日(土)~7月16日(月) ○6月24日(日)記念講演会「資料で紐解く太宰治展 ~没後70年を迎えて~」 1 ル  $\leftarrow$ 太宰治生誕110年記念事業に向けた調査・検討 ・太宰治没後70年特別展の開催については、来場者数は5,510人となり、目標来場者数7,000人には及ばなかった が、来場者アンケートでは展示を評価する意見が圧倒的に多く、充実した展示内容に大変好評を得た ・太宰治生誕110年記念事業に向けた調査・検討については、9月に新たに受入れ(=寄託)を行った太宰治に関 成果目標の 達成状況 する蔵書等について、資料総数の把握及び分類を行う予備整理を実施し、予備整理後にデジタル台帳を作成し このデジタル台帳を基に、(公財)三鷹市スポーツと文化財団と恊働して資料の活用方法等について引き続き 検討を進めていくこととした 後評 平成30年度特別展「太宰治 三鷹とともに-太宰治没後70年-」及び関連イベント(記念講演会)を、(公財)三鷹 市スポーツと文化財団との協働により開催した。特別展では、太宰治に関する貴重な資料や愛用品など300点以上 を全国から集めて展示し、これらの充実した展示内容が、多くの人から高い評価を得ることにつながった。また、今 回の展示を監修した東京大学大学院安藤宏教授の講演会を実施したことにより、特別展の見どころと太宰治の創 作活動への新たな視点を、さらに分かりやすくかつ具体的に多くの人に伝えることができた。これらの開催時期を桜 桃忌の時期と合わせることで、来訪者が多くなる機会を捉え、三鷹市民をはじめ全国の太宰ファンに、三鷹市ゆか 事業の総括 りの文学者の一人である太宰治の新たな魅力と「文学のまち三鷹」をアピールする相乗効果を創出した (主管課) 太宰治生誕110年記念事業に向けて、9月に新たに受入れ(=寄託)を行った太宰治に関する蔵書等について は、資料総数の把握及び分類を行う予備整理を実施し、予備整理後にデジタル台帳を作成した。このデジタル台 帳を基に、(公財)三鷹市スポーツと文化財団と協働し、資料の活用方法等について引き続き検討を進めていくこと とした。 これら一連の取り組みの成果については、今後の三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業の展開にもつなげることができ るよう、検討を深めていくこととする。 30年度予算 30年度実績 予 事業評価 予算額 13,372千円 13,173千円 算 審查会 執 決算額 12,205千円 評価・意見等 行 執行率(%) 92.7% 主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)

大沢の里古民家(仮称)の開館と三鷹型エコミュージアムの推 個別事業 事業名 6 掲載No 【事業概要】 大沢の里古民家(仮称)については、大沢の里公園内の中核的な施設の一つとして11月の一般公開を目指し、外 構工事、公開展示用備品の設置、わさび田景観復元作業を行うとともに、古民家解体調査報告書を作成する。ま た、地域団体や文化財保護審議会と協議を図り、事業内容や管理運営計画を定め、設置条例を制定するとともに、 施設公開管理及び事業運営を委託により実施する。併せて、一般公開に先立ち見学会等を実施することで気運醸成 を図り、開館時に開設記念式典等を行う。開設後は市民向けの各種体験学習講座や展示を継続的に実施する 業 概 三鷹型エコミュージアムの推進については、市民参加による文化財等の保護に取り組み、三鷹の歴史・文化等の 要 魅力を伝える冊子を刊行し、地域資料のアーカイブ構築や貴重資料のデジタル化を実施するほか、市民の調査研究 活動を支援し、文化財基礎調査や、戦前建物(日本無線㈱三鷹工場等)の調査報告書の作成を行う。 事 【事業量】 量 ・外構工事及び公開展示の実施 設置条例の制定、一般公開及び開館記念式典等の実施 初 ・施設公開管理運営委託の実施、みたかエコミュージアム研究『みいむ』創刊号の刊行 計 戦前建物調査報告書の作成 4 月 5 日 6 日 7 月 8 月 9 月 10月 11月 12日 1日 2 日 3 月 ス 外構工事 ケジ 公開展示の実施 ○開館記念式典等の実施 ュ 『みぃむ』創刊号刊行〇 ○設置条例の制定 1 施設管理委託の実施 施設公開管理運営委託の実施 ル ・外構工事及び公開展示の実施 ・設置条例の制定、一般公開及び開館記念式典の実施 成果目標 ・施設公開管理運営委託の実施、みたかエコミュージアム研究『みぃむ』創刊号の刊行 戦前建物調査報告書の作成 【実績】外構工事、公開展示の着手。設置条例施行に向けた準備、開館記念式典に向けた準備の着手。 設公開管理運営委託の実施。みたかエコミュージアム研究『みぃむ』創刊号刊行に向けた市民参加ワーク ト半期の ショップの実施。戦前建物調査報告書作成作業の着手。 実績・課題等 【課題】大沢の里古民家外構工事の完了及び円滑な一般公開並びに運営の実施。冊子創刊号及び報告書の 刊行 間 大沢の里公園内全体の管理経費を勘案し、 評 施設管理に係る事業費を精査すること。 事業評価 価 政策会議 また、早急に自転車駐輪場等の整備につい 審査会 評価・意見等 て検討すること。 特記意見 主管課評価 事業評価審査会評価 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする 1 外構工事及び公開展示を実施した。また大沢の里郷土文化施設条例を制定し、11月4日に開館記念式典を開催、一般 公開を開始した。施設公開管理委託を実施。みたかエコミュージアム研究『みぃむ』創刊特別号を刊行した。戦前建物 調査報告書を刊行した 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10月 11月 12月 4 月 1月 2 月 3 月 ス ケ 外構工事 公開展示の実施 ジ ュ ○設置条例の制定 『みいむ』創刊特別号刊行〇 1 施設管理委託の実施 施設公開管理運営委託の実施 ル 外構工事、公開展示を実施した ・大沢の里郷土文化施設条例を制定した。・11月4日に地域の関係者、関係団体及びボランティアを招 成果目標の き、開館記念式典を開催し、以後一般公開を開始した。・施設公開管理委託を実施した。 事 達成状況 ・市民参加によるエコミュージアム研究冊子『みぃむ』創刊特別号を刊行した。・戦前建物調査報告書を 後 刊行した。 評 文化財保護審議会、地域団体との協議を行いながら外構工事を完了させ、公開展示のための展示台及び 価 パネル類を作成した。施設管理は大沢の里水車経営農家及び出山横穴墓群8号墓との一体的な管理が行え るよう委託した。また、一般公開に向け市民ボランティアの養成を行い、体験学習やわさび田保全活動を 行った。 事業の総括 (主管課) 三鷹型エコミュージアムの推進に関しては、市民参加によるエコミュージアム交流会や体験型講座や参 加型展示などを実施したうえ、エコミュージアム研究冊子『みぃむ』創刊特別号を市民と協働で刊行した。これらの取組により、三鷹型エコミュージアム事業の推進を図ることができ、本年度の課題は予定ど おり達成できた。 30年度予算 30年度実績 予 事業評価 予算額 37,778千円 37,127千円 算 審杳会 執 決算額 35,282千円 評価・意見等 行 執行率(%) 95.0% 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等) 主管課評価 事業評価審査会評価 1 計画どおり 1 S 計画以上

事業名 星と森と絵本の家協働事業の充実と特色ある施設運営の推進

| 個別事業 | ス \_ 7 |

平成30年7月7日に開館10年目を迎えることから、ボランティア(星と森と絵本の家フレンズ)との協働により、 記念事業を実施する 事 市の登録有形文化財である国立天文台旧1号官舎について、再築から9年が経過し、現在まで大規模な修繕等を実 施していないことから、文化財的価値を維持するとともに、来館者の安全性・快適性を確保するため、施設の修繕等 概 を行う。また、蔵書数が7,000冊を超えたことから、新たに蔵書管理システムを導入し、効率的な蔵書管理を行うと 要 ともに、蔵書を活かした特色ある施設運営の推進を図る。 事 【事業量】 業 ・ボランティアとの協働による開館10年目記念事業の企画検討及び準備 量 初 ・施設修繕等の実施(建物修繕、空調機取替、パーゴラ塗装、防竹シート張り、非常照明設備交換) 計 ・蔵書管理システムの構築・検証・導入 7 月 8月 10月 11月 12月 ス 5 月 9 月 2 月 3 月 ケジ 4月~6月末:記念事業準備 7月7日:開館記念イベント/7月7日~9月上旬:開館10年目特別展 5月~7月6日:施設修繕等の実施(建物修繕及び空調取替は7/1~6のメンテナンス休館中に実施) 1 5月~平成31年3月:蔵書管理システムの構築・検証・導入 ル ・開館10年目記念事業の実施(開館記念イベント及び開館10年目特別展) 成果目標 ・国立天文台旧1号官舎等の修繕等の完了及び蔵書管理システムの導入 開館10年目記念事業については、星と森と絵本の家フレンズとの協働により、開館記念日である平成30 年7月7日に開館記念イベントを開催したほか、回廊ギャラリーにてボランティアのこれまでの活動を振 上半期の り返る「星と森と絵本の家フレンズ」特別展を開催した。 実績・課題等 施設修繕等については、建物修繕や空調機取替等、メンテナンス休館中に概ね実施した。 中 間 特設サイトの構築にあたっては、早急に市 評 事業評価 ホームページリニューアルとの連携について 政策会議 価 審査会 検討すること。 評価・意見等 特記意見 事業評価審査会評価 主管課評価 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする 1 ・ボランティアとの協働による開館10年目記念事業の企画検討、準備及び実施 ・施設修繕等の実施(建物修繕、空調機取替、パーゴラ塗装、防竹シート張り、非常照明設備交換等) ・蔵書管理システムの構築・検証・導入 5 月 6 月 10月 4 日 7 日 8 月 9 月 11月 12月 1月 2 月 3 月 ヶ 7月7日:開館記念イベント/7月7日~9月上旬:開館10年目特別展 ジ 5月~7月6日:施設修繕等の実施(建物修繕及び空調取替は7/1~6のメンテナンス休館中に実施) ュ 11月~3月:蔵書管理システムの構築・検証・導入 1 ル ・開館10年目記念事業の実施(開館記念イベント及び開館10年目特別展) ・国立天文台旧1号官舎等の修繕等の完了 成果目標の ・蔵書管理システムの導入 達成状況 車 開館10年目記念事業については、開館記念日である平成30年7月7日に開館記念イベントを開催したほ 後 か、回廊ギャラリーにてボランティアのこれまでの活動を振り返る「星と森と絵本の家フレンズ」特別展 評 を実施し、市民との協働による特色ある事業を展開できた。 価 施設修繕等については、建物修繕や空調機取替等をメンテナンス休館を中心に滞りなく実施することが できた 蔵書管理システムの導入については、開発事業者との綿密な打ち合わせ及び検証作業を行い、星と森と 事業の総括 (主管課) 絵本の家の特色ある蔵書運営に資するシステムを導入することができた。 30年度実績 30年度予算 事業評価 予算額 6,561千円 6,561千円 算 審杳会 執 6,431千円 決算額 評価·意見等 行 執行率(%) 98.0% 主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)

個別事業

ス

8

芸術文化センター、みたか井心亭等の文化施設の計画的な改修

事業名

掲載No 整備 【事業概要】 平成7年7月に竣工した芸術文化センターをはじめとした文化施設に係る空調や照明などの施設付帯設備につい ては、経年劣化により、その更新が喫緊の課題となっている。そこで、これらの文化施設の付帯設備について、管理上必要な工事を平成29年度から令和元(2019)年度の3カ年をかけて適切かつ計画的に実施し、安定的な運営を確 業 保することにより、市民の芸術文化活動の更なる推進を図ることとしている。平成30年度は、芸術文化センター 概 要 中・小ホールの照明設備等及びみたか井心亭の空調設備の改修工事を実施する。 業 【事業量】 量 ・芸術文化センター中・小ホールの照明設備等の改修工事の実施 初 ・みたか井心亭の空調設備の改修工事の実施 計 7 月 4 月 5 月 6 月 8 月 11月 12月 ス 9 月 1月 3 月 ヶ 芸術文化センター中ホール舞台照明設備等改修工事 ジ 芸術文化センター小ホール舞台照明設備改修工事 ュ ル みたか井心亭空調設備改修工事 ・芸術文化センター中・小ホールの照明設備等の改修工事の完了 成果目標 みたか井心亭の空調設備の改修工事の完了 みたか井心亭空調設備改修工事については、5月18日付けで契約を締結し、工事に着手した。 芸術文化センターについては、8月22日付けで舞台機構に係る工事の契約を締結した。中・小ホールの 上半期の 舞台照明設備改修工事については、工事に向けた準備を(公財)三鷹市スポーツと文化財団と連携して 実績・課題等 行った。今後年度内の工事の完了に向けて業者及び(公財)三鷹市スポーツと文化財団と連携を図りなが 中 ら事業を進めていく。 間評 事業評価 価 政策会議 審杳会 評価・意見等 特記意見 主管課評価 事業評価審査会評価 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする 【事業量の実績】 ・芸術文化センター中・小ホールの照明設備等の改修工事の実施 ・みたか井心亭の空調設備の改修工事の実施 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 10月 11月 12月 1月 2 月 3 月 芸術文化センター中ホール舞台照明設備等改修工事 ジ 芸術文化センター小ホール舞台照明設備改修工事 ュ 1 ル みたか井心亭空調設備改修工事 ・芸術文化センター中ホール舞台照明設備改修工事 2月15日竣工 ・芸術文化センタ―中ホール舞台機構設備改修工事 2月15日竣工 成果目標の ・みたか井心亭空調設備改修工事 11月30日竣工 達成状況 ※芸術文化センター小ホール舞台照明設備改修工事 工期延期 車 芸術文化センター中ホールについては、8月22日付けで契約を締結した舞台機構設備改修工事と9月10 後評 目付けで契約を締結した舞台照明設備改修工事をいずれも2月15日に竣工した。 5月18日付けで契約を締結したみたか井心亭空調設備改修工事は、6月28日から施設を休館して工事を 実施し、11月30日に竣工した。 芸術文化センター小ホールについては、工事進捗状況に遅れが生じたことから、次年度まで工期を延期 事業の総括 することとなったが、利用者に影響を及ぼさないよう工事を進めていく。 (主管課) 今後もこれらの文化施設について、(公財)三鷹市スポーツと文化財団と連携して適切かつ計画的な管 理及び工事を進め、来館者の安全と施設の保存活用を図っていく。 30年度実績 30年度予算 予 事業評価 予算額 155,131千円 154,012千円 質 審査会 執 80,015千円 決算額 評価・意見等 行 執行率(%) 52.0% 主管課評価 事業評価審査会評価 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)

個別事業

市民スポーツ活動のさらなる充実に向けた和洋弓場整備の

事業名 9 推進 掲載No 【事業概要】 平成29年度の実施設計を踏まえ、立体駐車場整備後に駐輪場と一体となった和洋弓場の整備に着手する。 業 (和洋弓場整備工事:平成31年1月着工、令和元(2019)年11月完成) 概 要 事 和洋弓場の整備(9月起工・入札、12月契約議案提出、1月着工) 業 量 初計 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 9 月 10月 11月 12月 1月 2 月 3 月 ス ケ ジ 起工・入札 契約議案 Ĺ 和洋弓場整備工事 ١ ル 和洋弓場の整備工事着手 成果目標 12月議会への契約議案提出に向けて8月に起工した。また、アスベストの安全な除去工事に向け 上半期の 必要な調査に着手した。 実績・課題等 和洋弓場の施設管理手法等について、 中 間評 早急に検討のうえ金額の精査を図るこ と。また、ネーミングライツの導入を検 事業評価 政策会議 討すること 価 審査会 評価・意見等 旧第二体育館解体事業については、庁 特記意見 舎等建替えの検討を勘案し、令和2 (2020)年度以降で再調整すること。 主管課評価 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする 【事業量の実績】 整備工事契約について、12月議会へ契約議案を提出。12月契約締結(工期:令和元(2019)年12月まで)。工事 監理業務契約について、1月契約締結。同月整備工事に着手。 4 月 9 月 5 月 6 月 7月 8月 10月 11月 12月 3 月 ス 1月 2 月 ケジ 起工・入札 契約議案 ュ 和洋弓場整備工事 Ι ル 計画通りに整備工事に着手した。 成果目標の 達成状況 後評 当該年度内に整備工事に着手することができた。当該整備工事は、三鷹中央防災公園・元気創造 プラザ整備事業に伴う市民センター内再配置の一環として、駐輪場と一体となったスポーツ施設と 価 して整備するものである。弓道とアーチェリーでそれぞれ固有のスペースを設け、弓場は5人立ち で長さ28m、アーチェリーは8人立ちで長さ50mになっている。 令和元(2019)年度は、平成29年4月にオープンしたSUBARU総合スポーツセンターと連動す 事業の総括 る市民スポーツ施設として、整備工事を進めるとともに、施設特性を踏まえ、安全性・利便性・効 (主管課) 率性の高い施設の管理運営を行う。 30年度予算 30年度実績 予 事業評価 67,600千円 予算額 67,607千円 算 審査会 勎 決算額 67,607千円 評価・意見等 行 執行率(%) 100.0% 主管課評価 事業評価審査会評価 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)

出土品等の適切な保存に向けた生涯学習課分室(埋蔵文化財収蔵 個別事業 事業名 10 庫及び展示室等) の移転に向けた取り組み 掲載No 【事業概要】 スポーツと文化部生涯学習課分室(埋蔵文化財収蔵庫)の老朽化等に伴い、施設の移転に向けた取り組みを行う。 転に当たっては、教育センター改修後のスペースを有効利用し、生涯学習課と分室の連携を強化するなど、市民や事業 事 者に対するサービス向上を図る。教育センターに収容しきれない出土品等の資料については、JR高架下や既存施設等 を有効活用することとし、平成30年度はJR高架下用地への収蔵庫設置工事を実施し、出土品の一部の移転を行う。移 転作業に伴い、東京都指導等に基づく出土品等の資料の整理を実施し、活用等がより容易になるよう保管を行う。な 要 お、令和元(2019)年度に分室と出土品の移転を完了させ、移転後に現分室の解体工事を行う。 事 業 【事業量】 当 初 JR高架下収蔵庫設置工事、JR等関係機関との協議 ・資料分類作業及び木製品保存処理並びにJR高架下収蔵庫への移転 計 ・教育センター改修(追加)工事の実施 画 4 月 5 月 6 月 7 月 8 月 12月 1月 2 月 ケジ JR高架下収蔵庫への移転 JR等関係機関との協議 JR高架下収蔵庫設置工事 資料分類作業·木製品保存処置 ュ 教育センター改修(追加)工事 Ι ル JR高架下収蔵庫の設置及び出土品等の保管 ・出土品等資料の整理及びJR高架下収蔵庫への移転 成果目標 ・教育センター改修(追加)工事の実施 【実績】JR高架下収蔵庫設置のための土地貸付契約を締結し、収蔵庫設置工事契約を締結した。出土品等移 転のための資料整理に着手した。教育センター改修(追加)工事契約を締結した 上半期の 【課題】JR高架下収蔵庫の完成と資料等の移転の実施。教育センター改修工事の完了。 実績・課題等 中 間 文化財の保管・運搬に係る経費については、 金額精査を図ること。遺跡の分類作業を早急に 評 事業評価 政策会議 価 行うとともに、生涯学習課分室の解体工事の早 審査会 評価・意見等 特記意見 期実施に努めること。

	主管	管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重	点的に取り組む	2 経常	業務の一環として取り	狙む 3	見送ることとする	
	【事業量の実績】 JR等関係機関との協議を行い、JR高架下収蔵庫設置工事を実施した。資料分類作業及び木製品保存処理を行い、JR高架下収蔵庫への利転を完了した。また教育センター改修(追加)工事を完了した。										JR高架下収蔵庫への移	
	ス	4 月	5	月 6月 7月	8 月	9	月 10月	1	1月 12月	1月	2月 3月	
	ケジ	_	JR等関係機関との協議				JЯ	高架下	収蔵庫設置工事		同収蔵庫への移転	
	ュ							2 1 1 1 2 4	類作業・木製品保	存処置	· · · · ·	
	ル			_		教育	センター改作	<b>爹</b> (追加)	工事			
	70		• T	R 喜処下収蔵庫の設置空了	及で	出土品	等の移転空	7				
	ポリ	成果目標の		・ J R 高架下収蔵庫の設置完了、及び出土品等の移転完了 ・資料分類作業及び木製品保存処理実施								
事	成果日標の達成状況		· 教	育センター改修(追加)工事	完了							
後評価												
	事業の総括 (主管課)			土品の適切な保存のため、J								
			蔵庫(JR高架下)の設置工事を完了。資料の適切な分類作業を経て、資料移転を完了した。また、教育セン  ター改修後のスペースを有効利用するため、教育センター改修工事を完了した。									
				9(1) (NOTE 1) (NOTE 1)	1 / 2	, = • > (	4X F1 C V	9/10/I	- F E 7 1 7 0 7 C 8			
						予			30年度予算		30年度実績	
	事業評価 審査会					算	予算額		41,655千円		42,039千円	
		帝宜云 評価・意見等				執行	決算額				39,030千円	
							執行率(%)				92.8%	
	主管	管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計	画以上 1 計画	回どおり	2 計画の7割未満 3	その他	(取組方針の変更等)	